

AntiVirusソフト(Dr.WEB Linux版)のライセンス(新規)登録について

RockyLinux8にて、Dr.WEBのトライアルライセンスを入手し利用してみたが、ソフト自体がリソースを圧迫するなどの事もなかったし、Linux対応のAntiVirusソフトが他に見つからなかった事もあり、Dr.WEBの正規ライセンスを購入した。

(1) オンラインストアからの購入

<https://estore.drweb.co.jp/home/>

購入の仕方は、他社のオンラインストアでの操作方法と変わらない。
オンラインストアにてクレジットカード等にて購入/決済が完了すると、
購入時に登録したメールアドレスへ「シリアルコード」が記載されたメールが到着する。

ここで登録するメールアドレスは、Dr.WEBの個人向けポータルサイトにログインしたり、
Dr.Webキーファイル入手の際にも使われるので、捨てアド（捨て垢）等は注意してください。

購入時に、ライセンス期間とPC台数を入力するが、例えば、1年、PC2台で購入すると、
シリアルコードが1つ発行される。
有効期限はシリアルコード毎となり、PC毎の有効期限では無い事に注意が必要。

→ 1台目：2023/01/01 使用開始
2台目：2023/02/01 使用開始
と、時期をずらしても有効期限は、2台とも 2024/12/31 となる。

(2) 使用開始日にDr.Webキーファイルの取得を行う。

ソフト上にライセンスを付与する方法は、Dr.Webキーファイルを取り込む事で登録する。

この、Dr.Webキーファイルを手する

<https://products.drweb.co.jp/register/v4/>

上記URLより、メールで到着した「シリアルコード」を登録すると、
Dr.Webキーファイルが発行される。
Dr.Webキーファイルは、上記URLから登録直後に表示されるリンクからもダウンロード可能だが、
登録したメールアドレスにも到着する。

「シリアルコード」を登録（Dr.Webキーファイルを発行した）時点で、ライセンス使用開始となる。
よって、「シリアルコード」は先行して購入していても問題ないが、
ソフト使用開始直前に、「シリアルコード」を登録したほうが良い。
→ ライセンス使用開始は、ソフトにDr.Webキーファイルをインポートした時点ではない！

(3) Dr.Webキーファイルをソフトに取り込む

GUI操作にて、Dr.Webキーファイルをインポートする事でライセンス登録が可能らしいが、
著者の場合は、Xwindow未導入の為、コマンドラインにて操作する。

(3-1) Dr.Webキーファイルを指定の場所に保存する。

保存先： /etc/opt/drweb.com/drweb32.key

(3-2) プロセスを再起動する。

systemctl restart drweb-configd

(3-3) ライセンス期間の確認する

drweb-ctl license

添付ファイル::

Linux

一意的なソリューション ID: #1038

製作者: n/a

最終更新: 2023-09-02 05:17